

# 栃木県人会（両歯学部）・教職員、 学生相互交流

平成28年度栃木県校友会事業の一環である標題の事業が無事に終了いたしましたのでご報告いたします。大川 新 栃木県校友会会長（62回）は全国の校友会長の中でも生命歯学部と新潟生命歯学部（歯科保存学第2講座・元助教）をよく知る先生でその指揮の下、例年標題の会が栃木県校友会の事業計画に基づいて開催されています。

生命歯学部栃木県人会は平成28年6月4日（土）19時から神楽坂「なんな」にて大川会長をはじめ栃木県校友会より2名、学内教職員は沼部幸博教授（72回）、添野雄一教授（本年4月より病理学講座教授：87回）をはじめ教職員・研修医8名、特別ゲストに自治医科大学口腔外科学講座教授・森 良之先生（73回）のご臨席をいただき開催いたしました。終始和やかに故郷の話やら、学年ごとの学生間の話に花が咲いていました。また新潟生命歯学部より4年小宅由輝君、篠原崇宏君が相互交流の一環として新潟から駆け付けてくれ東京の夜を満喫してくれました。

新潟生命歯学部栃木県人会は6月18日（土）19時から新潟市「いかの

墨」にて大川会長をはじめ安西未央子副会長（68回）、校友会より4名、学内教職員は遠藤敏哉教授（71回）、黒川裕臣教授（70回）、新海航一教授

（70回）、藤井一維教授（77回）、そして沼部教授、添野教授をはじめ8名のご臨席をいただきました。学生22名の参加がありました。偶然にもこの日はAKB48の総選挙が新潟スタジアムであり市内はAKBファンの群れで大賑わいを見せていました。また相互交流では生命歯学部より清水美穂さん、杉村美侑さんが東京より駆けつけてくれ、新潟の句に舌鼓を打ちました。何よりも初の生命歯学部、新潟生命歯学部栃木県出身の教職員と学生さんの相互交流の実現した場面の瞬間を経験することができ、大変感動しました。

通称『つなぐ会』は8月20日（土）18時よりJR宇都宮駅前チサンホテル宇都宮・サルーンにて大川会長、半田 功 副会長（78回）、田代高志

専務（72回）、沼部教授、添野教授のご臨席をいただき、生命歯学部・新潟生命歯学部学生諸君12名が集い、大いに食べ・飲み・喋りと賑やかなつなぐ会になりました。話題の中心はリオ・オリンピック（小宅君同級の萩野公介選手の金・銀・銅メダルの話題）や明日決勝が行われる第98回高校野球大会で栃木県代表の作新学院と北海道南代表の北海高校の決勝戦の話題で盛り上がりました（作新学院54年ぶり優勝）。

最後は沼部教授の盟友でいらっしゃいます田代専務のメドで散会となりました。

今年のキーワードは「教職員・学生諸君の栃木県人会の相互交流」の実現であろうと思われます。これも両歯学部を熟知する大川会長の采配の賜であると感謝いたします。

いつまでも栃木県人会・教職員・学生そして栃木県校友会の強い絆が大学内でも郷里の栃木の地でも将来にわたり根付く事業であることを願ってやみません。

（文責：水沼秀樹・77回、  
写真：小宅一郎・70回）



第8回東京・新潟をつなぐ会



生命歯学部・栃木県人会



新潟生命歯学部・栃木県人会